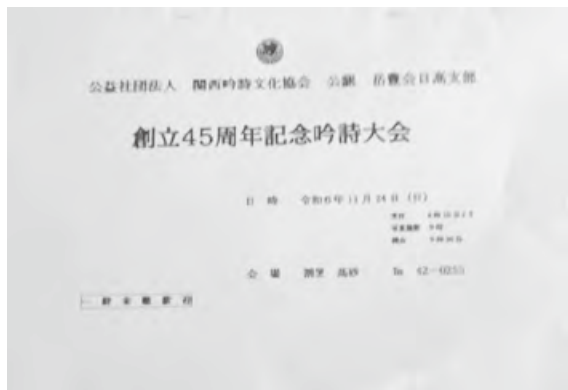




公益社団法人 関西吟詩文化協会 公認 岳豊会日高支部 創立45周年記念吟詩大会 R6.11.24

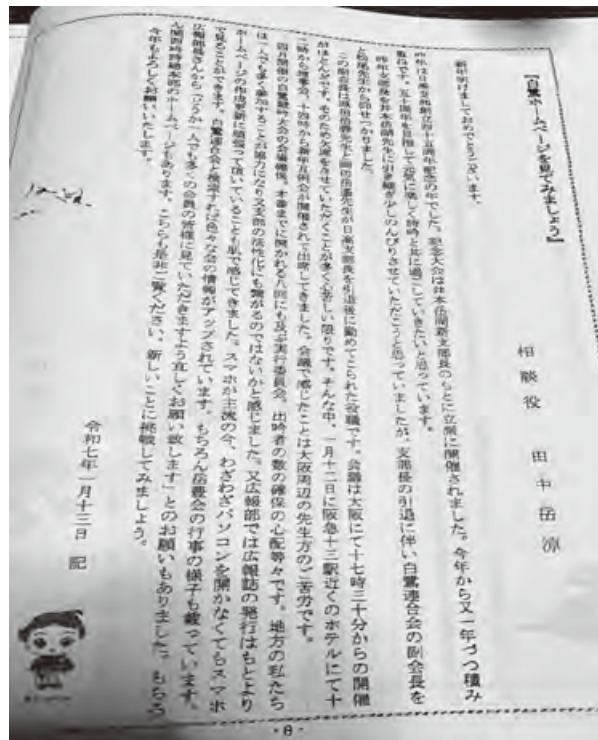


※同支部の田中岳涼相談役からのご報告です。
 令和6年11月24日（日）関西吟詩岳豊会日高支部創立45周年記念吟詩大会が開催されました。一部では、記念式典と会員吟詠で緊張の会場雰囲気。二部では久しぶりに記念祝賀会で会食もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



松尾会長の左から4代目、5代目、6代目支部長に、支部発展寄与したと花束贈呈を受けました。

◆日高支部広報紙「ひだか」に田中岳涼相談役が『白鷺ホームページを見てみましょう』と記事を書いてくださっています。



● 第21回公認岳豊会吟詠の集い競吟大会 6/23

QRコードにスキャンをかけて白鷺ホームページにジャンプしてください。

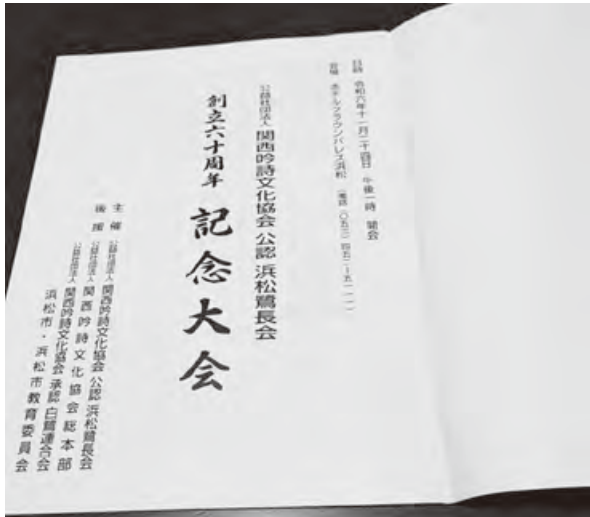
● 第46回 豊岡市日高文化協会・文化祭に参加しました 10/20



公認浜松鷺長会創立60周年記念大会開催される☆



白鷺所属の標題の大会が開催されました。
 日時：令和6年11月24日（日）午後一時開会
 場所：ホテルクラウンパレス浜松（JR浜松駅前）



大会次第は、セレモニー・会員吟詠・(休憩)・
 式典・来賓吟詠・来賓剣詩舞と進みました。



60周年構成吟

「一休さん（一休宗純）」



オープニング・ 懇親会

和気あいあいの元、
 懇親会で皆さんの
 絆を深めました☆



※白鷺関係者として
 参加させていただきました
 のでご報告いたし
 ます。(塩路)

関西吟詩が制作した
 第四弾「吟詠歌謡」
 を来賓で臨席された
 古賀千翔先生がご披
 露されました



コラム

AI(人工知能)は、どう答える!? 「吟じる」ことと「詠じる」ことの音声学的な 違いは!?



* AIに文字（音声）でこの質問をすると、次のような文字（音声）の答えが返ってきました!!

.....
「吟じる」ことと「詠じる」ことの音声学的な違いについてですね。

「吟じる」と「詠じる」は、どちらも詩歌や文章を声に出して表現することを指しますが、そのニュアンスや使われる文脈に違いがあります。

1. 吟じる

<意味>

- * 主に漢詩や和歌などを、一定の節や調子をつけて歌うように読むこと。
- * 声に出して読むだけでなく、内容や情景を表現するために、身振り手振りや表情をつけることもあります。

<特徴>

- * 音楽的要素：音楽的な要素が強く、節回しや抑揚をつけて、歌うように表現することが多いです。
- * 感情表現：詩歌に込められた感情や情景を、声の抑揚やリズムに乗せて表現します。
- * 伝統：伝統的な芸能や儀式などで、古典的な詩歌を吟じることがあります。

* 例:

- * 「漢詩を吟じる」 * 「詩吟を習う」



2. 詠じる

<意味>

- * 主に和歌や短歌などを、声に出して読むこと。
- * 「吟じる」に比べて、より文章を読むことに近いニュアンスがあります。

<特徴>

- * 朗読に近い：音楽的な要素は「吟じる」ほど強くはなく、朗読に近い形で読まれることが多いです。
- * 言葉の意味：詩歌に込められた言葉の意味や内容を、正確に伝えることが重視されます。
- * 現代性：現代の詩歌や文章を詠じることもあります。

* 例:

- * 「短歌を詠じる」 * 「自作の詩を詠む」

【音声学的な違い】

「吟じる」と「詠じる」の音声学的な違いは、主に以下の点にあります。

- * リズムとイントネーション：「吟じる」は、より音楽的なリズムやイントネーションを伴います。詩歌の内容や感情に合わせて、声の高さや強さ、速さを変化させます。一方、「詠じる」は、比較的フラットなリズムとイントネーションで読まれることが多いです。
- * 声質：「吟じる」は、声に抑揚や響きを持たせ、感情を豊かに表現することが求められます。一方、「詠じる」は、言葉の意味を明確に伝えるために、クリアな発音が重視されます。

<まとめ>

「吟じる」と「詠じる」は、どちらも詩歌や文章を声に出して表現することですが、その表現方法やニュアンスに違いがあります。「吟じる」は、より音楽的で感情豊かな表現方法であり、「詠じる」は、より朗読に近い形で、言葉の意味を正確に伝えることを重視する表現方法と言えます。

シリーズ 教室探訪コーナー

鷺舟会 玉出支部

2024年11月18日（月）鷺舟会玉出支部に広報部2名訪問させて頂きました。西成区玉出にある寿光寺の一角、天井の高い、よく声の響く教場でした。鷺舟会は昭和28年創設、この玉出支部は昭和48年から今まで継続されている、長い歴史のある支部です。



現在は若林鷺誓先生の元、加藤扇郊先生を講師に女性9名、男性2名の教室です。男性1名は95歳と高齢のため本日はお休みとの事でした。女性は年齢が70歳から90歳まで、吟歴も8年から50年以上の方まで幅広く、教室は週1回で月4回、会場の都合で開催できないときは、日にちを変更しても必ず週1回、月4回は練習されているとのことで、とても熱心な教室です。女性は加藤先生、鈴木先生、山口さん、小川さん、吉川さん、石橋さん、艸葉さん、浜口さん、下村さん。競吟にも参加されているとの事でした。白鷺の記念大会、青年部大会、女性部大会やバスツアーなどいろいろなイベントに加藤先生をはじめ、皆さんで参加されています。



本日は2時より開始。まずは、あえいうえおあおお…、パタカラ体操、アメンボ赤いな……など、若林先生の先導でたっぷりとお口の体操。続いて、律詩B-38「途上」(南摩綱紀)を本数6本から8本まで一気に3回合吟、3本の若林先生に合わせてもう1回。皆さんベテランなので、1節ずつの練習ではなく、即律詩8行の吟詠です。一緒に続けて4回、律詩を吟じさせて頂き、体がホカホカとしてくるようでした。

それから、それぞれ独吟、加藤先生からやさしくアドバイスを頂き皆さん少し緊張気味でしたが、しっかりと吟じておられ、さすがでした。独吟の最後は若林先生が良いお声で締められて前半終了。

休憩して歌謡吟「白虎隊」を全員で吟詠、「途上」に関係があるので白虎隊を選ばれたとの事でした。



最後に来年の本部婦人部に向けての練習をして予定終了。皆さん本当に前向きで、熱心に一生懸命、笑顔で詩吟人生を楽しんでおられる様です。

詩吟を吟ずるだけでなく、いろいろな詩吟につながることを楽しむ姿勢も教場の長く続いている一因になっていると思いました。遠方から通われている方もおられます。皆さん「また来週ね！」と笑顔で散会。

とても温かい雰囲気のお教室でした。ずっとずっと続けていって頂きたいと思います。若林先生はじめ玉出支部の皆様、有難うございました。

広報部：天田澄慈、福永洋恵（記）

史跡探訪の旅



頼山陽の好きだった山紫水明処

頼山陽の終の棲家を訪ねました。

京都市上京区・鴨川に面した住宅街にあり、思わず通り過ぎてしまうほど周りに溶け込んだ佇まいでした。大阪江戸堀で生まれた頼山陽は広島で母と10年間暮らしたようです。32歳で京都に出て6回ほど転居の後、43歳でこの地に出会い、居を構えた。6年後には自分好みに建て



替えた書齋が「山紫水明処」です。

当初は鴨川の西故に「水西荘」と名付けたそうですが今は「山紫水明処」です。

その頃の鴨川は縁の欄干近くまでも川が近づき、竿をたらしして魚をつり、また文人達と杯を交わし語らう無上の喜びの日々を過ごしたようです。欄干には中国風の趣で湿気に強い栗材が使われ、山陽の拘りが滲み出ていました。

蒸し暑い京都にそよ風の通る窓には南天の自然木をあしらい、風を楽しんだ書齋は茶室にもなった四畳半でした。冬には当時としても珍しい二重戸にしたガラス障子はいわゆるギヤマンとの説明でした。今も手作りの波打ったガラスから入る屈折した光は風情を醸し出していました。夏のあつさも冬の寒さまでも山陽は趣向を凝らし楽しんだのでしょう。

関西吟詩文化協会総本部の二階に新しく表装され飾られている額に「山紫水明処」の文字が。



本部で開催されています「詩游クラブ」で近畿漢詩連盟会長 佐藤焯水先生の講演時に先生の目に留まり、この額の説明をして頂きました。

驚きました。



向こう岸に住んでいたと言われている梁川星巖や江馬細香と生涯の友であった篠崎小竹などを招いた楽しい昔の風景には昔の母屋や広い鴨川までも描かれています。

東山三十六峰を一望できる山紫水明処でした。



天田 澄慈（記）



白鷺女性部京都日帰りの旅『松尾芭蕉と頼 山陽ゆかりの地を訪ねて』を終えて

(一号車 鷺恵会 北浦広恵)



今回は女性部初めての社会見学を企画しました。

開催日の前後に行事が多く、案内・申込書を発送し、最終71名の申し込みがあった時は感謝し、楽しい旅にしなくてはと力が入りました。

◇参加者 71名（うち2名は欠席）バスは2台で（1号車34名・2号車35名）

◇訪ねる二つの地はどちらも狭小建物で、午前・午後とバス1台ずつ交互に見学する。

◇「旅のしおり」を作成する。

10月15日（火）当日、8時30分 全員集合 京都に向って2号車出発！ 1号車出発！

1号車の中では忙しくお茶、おやつ、旅のしおりを配布し、添乗員からの説明、役員の挨拶、自己紹介が終わる頃には和やかな会話が弾み、お天気も明るい青空になってきました。

午前中は頼 山陽 ゆかりの地『山紫水明處』の見学です。

到着、バスを降りて少し歩き人家の間に入り木戸をぬけると、そこに「山紫水明處」が。

小さい床の間のある4畳半と2畳の部屋と半坪の板の間、そして小さい庭がありました。

約半分の16名くらいは畳に上がり残りは外に立って、担当の方からお話をお聞きました。

「頼 山陽32歳で京都に出て転居を繰り返し43歳でこの三本木の地に水西荘（鴨川の西の意）を構え、49歳（1828年）敷地内に工夫を凝らした独自の好みでこの山紫水明處を

書斎兼茶室として建てました。当時は書斎の下の石垣を洗うように鴨川が流れ対岸に東山三十六峰を一望でき、山陽はこの景色を愛しました。「日本外史」もここで完成しました。」

「その障子のガラスは当時のままです。」と説明され、みんな一斉に「触ったらあかんよ！」と注意。

優しく丁寧にお話くださった上品な女性が頼家の6代目と知り大感激でした。

最後に頼 山陽作「母を奉じて嵐山に遊ぶ」をみんなで合吟しました。

バスに乗り昼食場所の『しょうざんリゾート 京都』へ。

2号車の到着を待って全員揃っての昼食です。井上女性部長の挨拶があり、ビールで乾杯！

目の前には、彩りも綺麗な京料理が並び、ゆっくり味わいました。大勢で食事をするのは楽しいですね。すべて残さずいただきました。「ごちそうさまでした」

庭園を散策し、号車ごとに集合写真を撮りました。笑顔で撮れました？

午後は松尾芭蕉 ゆかりの地『金福寺』の見学です。1号車出発！

お寺に到着までの時間を使って「旅のしおり」の松尾芭蕉のページのお話を。その中に載る松尾芭蕉作の俳句「京にても」を皆で合吟をしました。皆さんにとっては初見の俳句です、先導担当者は緊張していましたが、コンダクターの伴奏が始まると皆さんが一斉に大きな声でしっかり詠ってくださったので、「よかった！」と笑顔になっていました。

バスが入れず降りて暫く歩き金福寺に到着。石段を上りますと本堂が見えてきました。ここでは20名以上は本堂に上がることが出来、担当の方からお話をお聞きました。

「金福寺、もとは天台宗の寺であったが元禄年間に鉄舟和尚が再興し臨済宗南禅寺派の

寺となりました。芭蕉は京都を吟行したころ、当寺の草庵で閑居していた住職鉄舟和尚を訪れ、風雅の道について語り合い親交を深め、後に和尚は庵を「芭蕉庵」と名付けた。その後85年ほどして、芭蕉を慕う与謝蕪村が当寺を訪ね荒廃した庵を惜しみ「芭蕉庵」を再興しました。」

また、作家 船橋聖一の小説「花の生涯」のヒロイン 村山たか女が尼となり生涯を終えた寺です。

芭蕉の碑、芭蕉像、蕪村の遺愛品、たか女のご位牌、遺品が残されており、背後の丘には蕪村ら俳人の墓や句碑があります。

本堂のすぐそばに枯山水の庭園があり、一面の白砂と背景に広がるサツキの築山があり、秋の紅葉が美しいそうです。

見学を終えバスに戻り、次の行き先は京銘菓『おたべ本館』へ。2号車が待っていてくれました。

店に入りますとなんと「ゴディバ」と「おたべ」がコラボした製品が。誰かが美味しいらしいです！と。ではとろろんな味の箱を抱えてレジは行列、「稽古場のお土産に」と買物する声を楽しそうでした。

2台のバスにそれぞれ戻り、京都で降りる方達を見送り一路大阪へ。

バスの中では、ゆっくりお菓子を食べて、笑って、おしゃべりして帰ってきました。



(二号車 淞苑会 中野 苑眞)

10月15日（火）女性部の社会見学に参加してきました。行き先は京都（洛北）、【松尾芭蕉と頼山陽のゆかりの地を訪ねて】初めて訪ねる場

所でしたので、とても楽しみです。お天気にも恵まれ新大阪からバス二台での出発です。

車中では、自己紹介や松尾芭蕉の「京にても」の練習をしました。最初の地「金福寺」は、芭蕉が旅の途中で立ち寄った場所だとか。蕪村や村山たか女のゆかりの寺としてひっそりした佇まいで、小高い丘には詣墓や御位牌などがあり、手を合わせてきました。しょうざんリゾートでは、北山杉のどっしりとした庭園を通過の食事処では、とても美味しく大満足でした。

次は、頼山陽の書齋「山紫水明処」東西南北四季折々に合わせて至る所に山陽のこだわりがあると聞きました。ここでは、車中で練習した「母を奉じて嵐山に遊ぶ」の合吟をしました。

最後はお土産です。皆さんとても楽しそうで、たくさんのお土産を買い込んでバスに乗り込みました。渋滞することもなく、車窓から眺める色づき始めた木々や山々、鴨川の流れを観ながら、友人とおしゃべりもしながらの楽しいバス旅でした。

後日、冊子に綴られていた「奥の細道の紀行図」を見ながら、以前訪ねたことのある場所を見つけては、寄り道の地図の旅も楽しい時間でした。

旅行に携わって下さった皆様、本当にありがとうございました。二度楽しめた旅だった気がします。

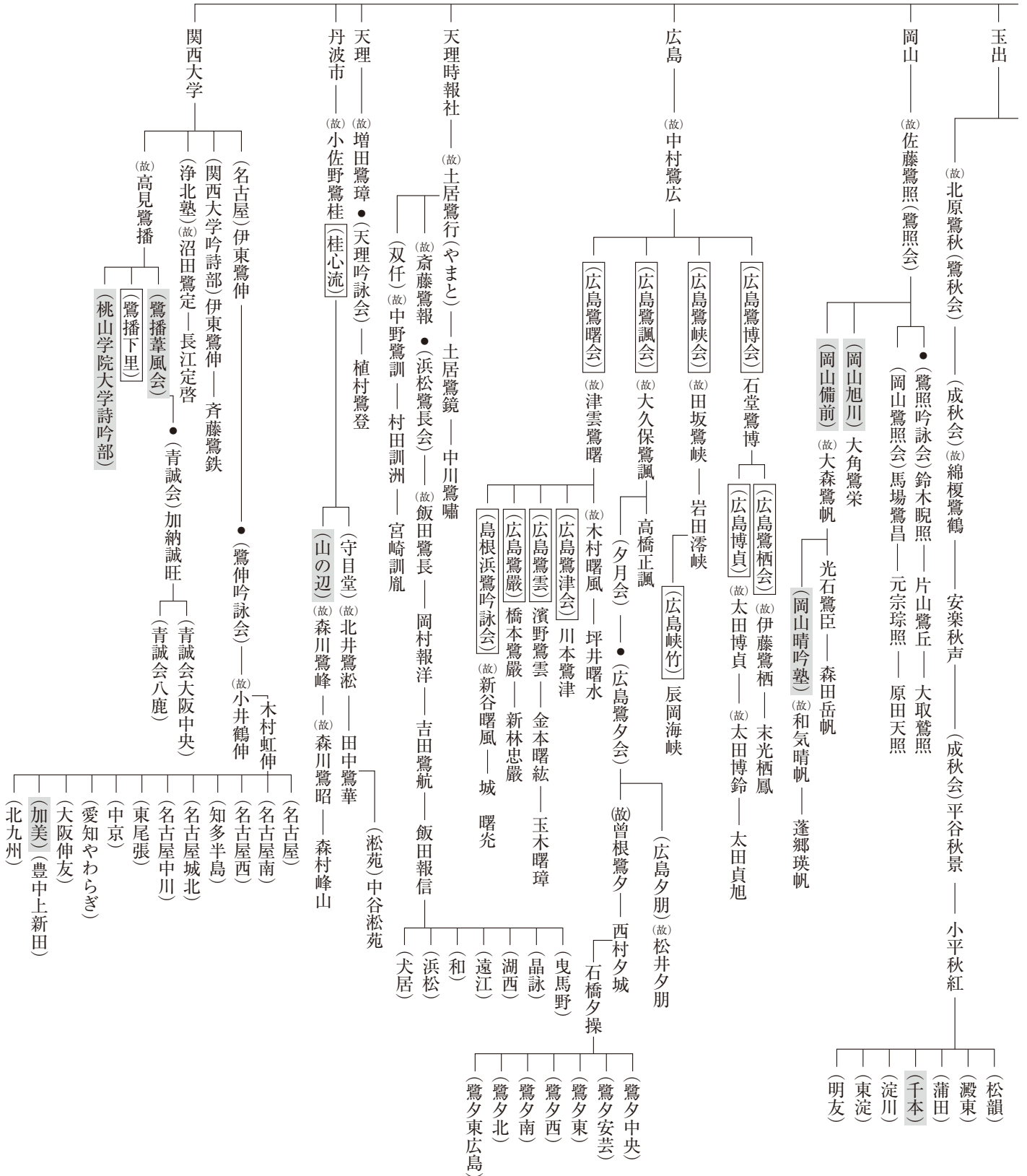


QRコードを写し取り白鷺ホームページへジャンプしてください。



白鷺連合会組織系統一覽

(令和6年12月現在)



令和7年度 白鷺連合会行事予定 事業企画部 2025.1.30

年・月・日		白鷺連合会	総本部	関連団体行事
4月	5	第64回白鷺吟詠の集い競吟エーリック	4 正副会	6 財団 吟剣大阪東・北大 19 財団執行部会「吟詠研修会」①
	19	常任理事会① 17:30 大開センター	19 正副会 理事会	20 大阪府連一部二次予選 6会場 25 大坂地区常任理事会 大東
5月	4	常任理事会② 12:00 大開センター	10 元老・相談役・参与会議AM正副会PM	3 律詩連吟・和歌予選大会
	4	総会 14:00 大開センター	17 正副会 理事会 婦人部総会	6 大阪地区連総会・70周年祝賀会 11 財団大阪 池田 13 詩游クラブ 18 大阪府連一部三次予選 5会場 25 愛連ジュニア・シニア尼崎
6月	14	常任理事会③ 17:30 大開センター	7 定期総会 正副会	1 ポリドール競吟大会予選
			14 正副会 理事会 15 特別研修会兼推薦師範講習会 22 吟詠普及研修会(九州)昇格試験(地方)	13 財団常任理事会 22 日本伝統文化競吟 富田林 22 大阪府連一部決勝 高槻
7月	18	～19 白さぎ吟行会IN広島	5 正副会	5 財団吟詠研② 8詩游クラブ
			20 昇格試験(師範・準師範・師範代)	13 大阪府連二部決勝 高槻 27 愛連ジュニアシニア決勝 尼崎
8月	9	常任理事会④ 17:30 大開センター	2 正副会	10 関吟一部予選 東西南
			17 吟詠普及研修会(岡山) 9 正副会 理事会	11 財団近畿 大東市民 17 関吟一部予選 北 24 関吟二部予選 東西南北大東市民
9月			6 正副会	6 財団吟詠研③ 16詩游クラブ
			14 東明碑前祭・本部研修会(新教本研修) 吟詠普及(西中国) 27東明未来①特別 23 講座	14 愛連一部吟士権 尼崎 大阪実業団 財団全国剣詩舞
10月	11	常任理事会⑤ 17:30 大開センター	4 正副会 15～17国内移動教室	5 愛連二部吟士権 尼崎
			11 正副会 理事会 26 全国吟詠大会近畿地区大会(IN大阪)	日総連全国 6月に予定も 12 プラチナ大会梅香 12ポリドル全国
11月	25	第23回女性部大会 ロイヤルクラシック	1 正副会	1 関吟大阪一・二部決勝?
			9 全国新人中間層競吟大会 本部研修会(師範・準師範・師範代昇格課 16 題詩) 23 吟詠普及(兵庫)29東明未来②特別講座	1 財団吟詠研④ 11詩游クラブ 11 財団合吟コンクール全国決勝 14 財団常任理事会
12月			6 正副会 地区連合会代表者会議	少壮チャリティ
			14 全国師範代・準師範・指導者級吟士権 13 正副会 理事会	日総連近畿地区吟詠大会
2026 R8・1月	11	常任理事会⑦12:00プラザオーサカ 新年互礼会 14:00	10 正副会	西日本互礼会
			12 AM 元老・相談役・参与・代議員会議 12 PM 新春吟詠大会 都ホテル・尼崎	詩游クラブ 少壮コンクール近畿
2月			7 ～8 吟道大学講座	飛翔コンクール 富田林
			14 正副会 22 吟詠普及研修会(東海)	全国吟剣コンクール決勝 哲友会吟詠コンクール
3月	14	常任理事会⑧17:30 大開センター	7 正副会	詩游クラブ 愛連吟詠フェスティバル
			14 正副会 理事会 22 吟詠普及研修会(四国) 29 ～31 本部棚卸	全国少壮決勝 大阪府連一部一次予選① 大阪府連一部一次予選②
第65回白さぎ吟詠の集い競吟大会 令和8年4月4日(土)開催予定 会場 エーリック				

編集後記

・年度初めの白さぎ最初の行事は、毎年4月開催の「白鷺吟詠の集い競吟大会」です。全国白さぎ会員が集まり、絆を深め、気迫のこもった吟声で令和6年度も幕開けしました。
・令和6年5月開催の「白鷺総会」では、役員改選の年に当たり、再任も多い中、新任役員も選出されました。現役新任三名の皆さんにHPと本紙面で抱負などのご挨拶をいただきました。
・白さぎ事業企画部には、同青年部員も掛け持ち参加しているため、本年度は久々の「白さぎ交流会」を青年部大会とコラボ開催することとなりました。
・今回も編集記事は、都度、白鷺HPで取り上げた内容を復元させる形としました。

スマホケイタイが普及する時代ですが、まだまだ高齢社会でデジタル化に立ち後れている方々にも情報を等しく提供するためです。紙面にあるQRコードを映像で取り込めば、カラー写真など満載の白さぎHPへジャンプできるようにしています。どうぞ、お楽しみ下さい。

・白さぎも会員数が年々減少していく状況は打破できずにいますが、元気澆刺とした活気ある活動を通して、詩吟仲間を増やすことに専念いたしましょう。情報の共有を図るための一役を担う広報部は、これからも工夫を絶やさず邁進したいと思います。ご指導ご鞭撻宜しくお願いいたします。

広報部・HP管理部 部長 塩路澄誠

(印刷所) (株)NPC コーポレーション 〒530-0043 大阪市北区天満 1-9-19 TEL (06) 6351-7271 FAX (06) 6352-7479

【告知】「第23回白さぎ女性部吟詠大会」開催のご案内☆

日時：令和7年11月25日（火）

場所：ホテルロイヤルクラシック大阪 大宴会場

- * 関係各位の皆様には、改めて書面にてご案内申し上げますが、日時と場所が決定しましたので、今からカレンダーに書きとめてくださるとありがたいです！
- * ホテルの都合で一昨年と同じく、平日開催となりますが、多くのご参加で盛り上げてくださることをお願い申し上げます!!



白鷺女性部・部長 井上 容声

【告知】第58回白さぎ青年部吟詠大会のご案内☆

日時：令和7年8月31日（日）正午開場 12時30分開会

会場：未定（大阪市内予定）

大会テーマ：「真夏の推しのハーモニー」

会費：3,000円

- * 会場決まり次第、追って青年部から連絡があります。カレンダーに日付書き込んでおいてください。

◆青年部大会に参加したら若返る!!

気持ちは青年部!! と、白さぎ会員は皆んな口を揃えたように答えます

若々しい青年部の笑顔が皆んなを引き寄せますね!!



お知らせ

◆予告◆ みんなで成功させよう♪

白さぎ吟行会in広島

「宮島を知り尽くそう」

<日時> 2025年7月18日（金）～19日（土）一泊二日

交歓吟詠会・懇親会・宮島観光

<場所> 宮島 ホテル錦水館

QRコードで
HPへジャンプ。

